

122	款・項・目	5・1・1	目名称	労働諸費	目の決算額	101,418,227	122
	事務事業名称	雇用環境整備事業					
	事業コスト(千円)	35,466	【うち人件費 6,643 うち減価償却費 170 】				
事業の目的	対象(何を、誰を対象として)						
	市内の事業所 目指す成果(対象をどのようにしたいのか) 雇用の安定と人材の確保がされているとともに、ワーク・ライフ・バランスへの取組が進んでいます。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	就職フェア参加者数		372	／	400	人	
	雇用対策協議会加盟企業数		104	／	105	社	
実施内容	1 大府市働きやすい企業表彰の実施(R1~)						
	仕事と生活の調和のための職場環境の整備に取り組む事業所の表彰及び紹介をすることにより市内の他の事業所における両立支援に係る取組を進めました。(R2:福富金属(株)、星和化成(株)、コサカ精機(株)、(株)長屋心 なごころ保育園大府、千代田工業(株)、(株)ケーツー)						
	2 大府市雇用対策協議会への補助						
	(1) 労働力を確保するための求人对策事業						
	ア 高校卒業予定者の求人に関する取組を実施しました。 高校就職担当者を訪問し、学生の進路動向や求人件数等のヒアリングを実施しました。(県内21校) ※高校就職担当者との懇談会及び高校就職担当者による事業所見学会は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため中止しました。 イ 新規学卒者及び中途求職者の求人に関する取組を実施しました。 就職フェア(近隣8市町連携開催1回(ウイングあいち)、本市単独開催1回(大府市役所)) 参加企業・来場者 H30:271社 500人 R1:130社 345人 R2:162社 372人 ウ その他の取組 (7) 会員事業所の概要を掲載した大府市就職ガイドを600部作成し、大学や高校等へ配布しました。 (4) 県内外の学校及び職業安定機関等へ求人に関する取組のPRを実施しました。 (9) 働き方改革及び人材育成に関するテーマなどを検討し、研修会1回を実施しました。 (2) 労働力を定着させるための従業員定着対策事業 優良従業員の表彰 対象者 H30:17人 R1:17人 R2:17人 ※新就職者激励会及びボウリング大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため中止しました。						
3 中小企業緊急雇用安定補助制度の運用(新型コロナウイルス感染症対策事業) 業績悪化した企業が、従業員を休ませた場合に支給される国の雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金について、6%の上乗せ補助を実施しました。 181件 23,807,200円							
4 雇用調整助成金申請等手数料補助制度の運用(新型コロナウイルス感染症対策事業) 小規模企業が国の雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金を申請する際、申請書類の作成等を社会保険労務士等に依頼した場合に要した経費を補助しました。 43件 3,795,317円							
事業の評価	妥当性評価	就労環境を充実したものにするため、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	市主催の就職フェアに出展する大府市働きやすい企業表彰の受賞企業に対して、ブースに表彰企業である旨を求職者に分かりやすく掲示することで、表彰制度の有効性を高めました。					
	効率性評価	中小企業緊急雇用安定補助制度、雇用調整助成金申請等手数料補助制度について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多大な影響を受けている事業者の一助となるように、補助金申請書類の簡素化と早期の交付に努めました。					
事業費	左の財源内訳						
	28,637,092	国県支出金	地方債	その他	一般財源		
		0	0	26,267,800 (基金26,267,800)	2,369,292		

主要事業No 155

主要事業No 155

123	款・項・目	5・1・1	目名称	労働諸費	目の決算額	101,418,227	123
	事務事業名称	雇用促進事業					
	事業コスト(千円)	8,805	【うち人件費 2,677 うち減価償却費 161 】				
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 職を求める市民						
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 就労機会の場が確保されています。						
評価指標	指標名		令和2年度実績値	／	令和2年度計画値	単位	
	大府市就業支援センターを通じた就職者数		211	／	370	人	
	就職支援セミナー開催数		3	／	7	回	
実施内容	1 大府市就業支援センター（ワークプラザおおぶ）						
	(1) 大府市就業支援センター						
		H30	R1	R2	月～金曜日午前9時～午後4時30分 (祝祭日を除く。)		
	新規求職者	570人	581人	541人	※ワークプラザおおぶを通して就職した人数		
	就職者数※	261人	281人	211人			
	延べ利用者数	6,159人	6,513人	6,086人			
	(2) 大府市就業支援センター事業運営協議会						
	ワークプラザおおぶで職業相談・紹介などと市の生活支援サービスを一体的に実施できるように、愛知労働局、ハローワーク刈谷、企業や労働者の代表、市で構成された大府市就業支援センター事業運営協議会にて近況求人動向や次年度事業について協議を行いました。H30:2回 R1:2回 R2:2回						
	2 就職支援セミナー						
	ハローワーク刈谷と連携した就職支援セミナーや女性の再就職支援セミナー（マザーズセミナー）を開催しました。						
全セミナーに託児を用意し、子育て世代の再就職の支援に取り組みました。							
	実施回数・参加者数	H30	R1	R2	R2内容		
	就職支援セミナー	5回 66人	6回 43人	1回 11人	心のストレス回復対策、再就職ブランクの不安解消方法		
	マザーズセミナー	2回 14人	3回 11人	2回 7人			
(R2は新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため5回中止)							
3 ちた地域若者サポートステーションと連携した就労個別相談							
毎月第4水曜日 午後2時～午後4時 大府市ふれ愛サポートセンター「スピカ」内 ニート状態等にある若年者やその保護者からの就労に関する相談への対応を行いました。 相談件数 H30:9件 R1:9件 R2:4件							
4 首都圏人材確保支援事業費補助金							
東京23区から本市に移住して中小企業に就職した人等を対象に、国及び県と連携して補助制度を運用しました。 交付件数 R1:0件 R2:0件							
事業の評価	妥当性評価	国の職業紹介や職業相談事業と本市の生活に関するサービスを一体的に実施することは、求職者への就職支援につながることから、ワークプラザおおぶの運営は、市が実施すべき事業です。					
	有効性評価	就職支援セミナーの講座内容に時代のニーズに沿った内容である「就職活動中のストレスに気づいて対処するための心のストレス回復対策講座」を初めて取り入れて、セミナーの有効性の向上に努めました。					
	効率性評価	就職フェア開催時に就職支援セミナーを同時開催することで求職者の就職活動の利便性の向上を図る計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。					
事業費	左の財源内訳						
	5,957,579	国県支出金		地方債	その他	一般財源	
		472,824		0	0	5,484,755	